

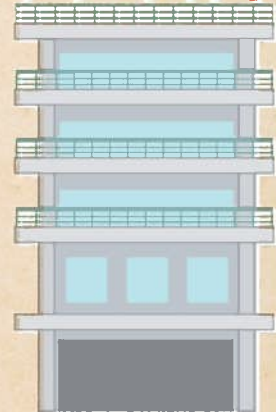
NIRASAKI CITY

にらさき子育て ガイドブック

child reading
GUIDE BOOK



アメリカヤ





「**韮崎で子育てをして良かった**」と感じてもらえるように、行政と地域が一体となって“**子育て支援**”を行っています。

Neera

あなたの**子育て**を 「**チーム韮崎**」で**サポート**します！



韮崎市が子育て支援で大切にしているポイントについて、子育て支援を担当する各部署の方から「**トップファンやまなし**」がお話を伺いました。



「**トップファンやまなし**」とは？



私たちは、**韮崎高校OB・OG**の有志で立ち上げ、主体的に地域貢献を目的とした任意団体です。
「若い世代」の視点を活かして、この冊子を取材しました。



NPO法人「子育て支援センターちびっこはうす」内藤香織理事長より、同冊子の趣旨説明と紹介をされる『**トップファンやまなし**』のスタッフ

蕪崎市が子育て支援で 大切にしている**3つのポイント**



子育てに関わるさまざまな機関が、 みんなで連携！「チーム蕪崎」！！

蕪崎市では「子育て」に関して、市民の皆さんがどこに相談しても、適切なサポートへたどり着けるように、市役所内の部署同士や地域のさまざまな支援機関と連携しています。
相談に来た方が必要なサポートを、スムーズに提供できる体制を整えています。

子育ての「ライフステージ」に応じた、 切れ目のないサポート

子どもが成長するにつれて、子育てに必要なサポートも変化していきます。
蕪崎市では、「妊娠中から出産、そしてお子さんが大きくなる」まで、それぞれのライフステージに応じて切れ目のないサポートを提供しています。

地域全体で子育てを支え合い、 状況に応じたアドバイス

子育てに対する不安や孤独を感じる方も、増えています。
地域の中で子育て家庭が孤立しないように、「地域のつながり」を大切にしています。
「子育てサロン」「親子教室」など親子同士が交流できる場や、保健師や相談員が状況に応じて家庭を訪問し、適切なアドバイスを行っています。

蕪崎市の子育て情報をまとめた**Web版「にらさき子育てガイド」**

にらさき 子育てガイド



蕪崎市ホームページの子育て関連情報を「にらさき子育てガイド」としてまとめました。

届出・健診・手当助成・教育保育・イベント・施設・相談先・医療などについて、事業の概要を紹介しています。

詳細は、こちらのQRコードから→





蕪崎市「子育て支援」の取り組み を紹介します！

妊婦さん、夫またはパートナーが 安心して赤ちゃんを迎える準備のための 「パパママ学級」

パパとママが安心して赤ちゃんを迎えられるように、保健師、管理栄養士、助産師、子育て支援センター（にら★ちび）スタッフによる妊娠、出産、育児、栄養等に関する教室を開催しています。これからパパ・ママになる同士の交流の場にもなります。



右：子育て支援センター（にら★ちび）にて

対象者：蕪崎市にお住まいの妊婦さん、
及びその夫またはパートナー
要予約となります。
利用料：無料
問い合わせ先：健康づくり課 保健指導担当



市民一人ひとりの健康づくりの場 蕪崎市保健福祉センター



保健福祉センターでは、赤ちゃんからお年寄りまですべての年代を通した「健康づくりの場」として、総合的な保健サービスを提供しています。

また、市民の皆様の健康づくりと、福祉増進の拠点・ふれあいの場としても幅広い活動を行っています。

問い合わせ先：
蕪崎市本町3-6-3
電話：0551-23-4310



ニーラ 子育て応援アプリ

「子育て支援」の詳細は、**蕨崎市**のホームページ
<https://www.city.nirasaki.lg.jp/>
または、QRコード（3P）からご覧ください！



産後のママのために！
心も体もリフレッシュしませんか!!

「ママのためのととのう（整う）ルーム」

産後は育児に追われてなかなか自分のからだを気遣うことができず、疲れやストレスもたまりがちになります。
運動を通して心もからだもリフレッシュしてみませんか。
ママ同士のおしゃべりも気分転換になります。



右：講師の齊藤桜子（桜子健康スタジオ）氏と
母子たち 下：参加された母子ともに



対象者：蕨崎市に住む産後1年未満までの産婦。
お子さまも一緒に参加可能。
要予約となります。
利用料：無料
問い合わせ先：健康づくり課 保健指導担当



蕨崎のこどもと地域をつなぐ！ NPO法人にららん「こどもまんなかラウンジ」

蕨崎市では、NPO法人「にららん」（内藤慶子理事長）と協力し、子どもと地域をつなぐ活動を行っています。

「にららん」の活動は、お子さんの健やかな成長と、ママさんたちの孤独や不安を少しでも和らげることを目指しています。フードバンクや食事支援、大学生による無料の学習支援など、さまざまなサポートをしています。また、地域でお子さんを見守る「第三の居場所づくり」にも取り組んでいます。



問い合わせ先：
蕨崎市若宮1-2-50 蕨崎市民交流センター
「ニコリ」B1F「こどもまんなかラウンジ」



蕪崎市の子育て支援〈お問合せ先一覧〉 ※市外局番は全て0551

妊娠出産期

新生児期 (生後28日まで)

乳 児 期

健康づくり課 蕪崎市保健福祉 センター内

☎23-4310

母子健康手帳交付 (子育て応援アプリ)
父子健康手帳交付・子育て支援グッズ配布
妊婦相談
妊婦一般健康診査
7か月妊婦フォロー
妊婦訪問
パパママ学級
妊婦歯科健康診査
不妊治療費助成
にこにこ子育て相談室

出産・子育て応援給付金

出生児・産婦家庭訪問
産後ケア事業 (宿泊型) 利用費助成 (4か月まで)
養育医療費助成
産婦健康診査
新生児聴覚検査
出生記念祝品

フォロー訪問

乳児一般健康診査
4か月児健診
すくすく教室 (7か月)
ブックスタート
育児支援グッズ配布
予防接種
ママのためのととのう (整う) ルーム

心理相談・言語相談・発達相談

子育て支援 センター

蕪崎市民交流
センター内

☎23-7676

妊婦さん・0歳児ひろば
助産師さんとおしゃべり

にら★ちび子育て相談室

子育てひろば
一時預かり (6歳児まで)
ファミリーサポートセンター (小学6年)
子育て交流会
子育て講座

こども子育て課

子育て支援担当

☎22-1115

保育担当

☎22-1117

こども相談担当

☎22-1118

児童手当 (18歳まで)
子ども医療費助成 (18歳まで)
児童扶養手当 (ひとり親支援)
ひとり親家庭医療費助成 (18歳まで)
児童センター (18歳まで)
子育て短期支援 (ショートステイ) (18歳まで)

市立病院内病児・病後児保育 (小学6年)
保育所・認定こども園
3歳以上児保育料無償化
第2子以降の保育料・給食費無償化
子育て世帯訪問支援
家庭児童相談員訪問
おむつサブスクの導入
認定こども園未就園児子育て支援事業
幼稚園未就園児子育て支援事業

福祉課

障がい福祉担当

☎22-1992

生活支援担当

☎22-1993

教育委員会 (教育課)

学校教育担当

☎45-7208

その他

住まいるマイホーム助成
結婚生活支援
定住促進住宅家賃助成
移住支援金

チャイルドシート貸出 (総務課)

男性の育児休業取得促進事業
市営体育館新設 (R7)
都市公園 (市営体育館跡地) 再整備
中央公園遊具整備



幼 児 期

学 童 期

青 年 期

1歳6か月児健診
3歳児健診
保育所等巡回訪問
のびのび教室（2歳3か月児）
セカンドブックスタート

いのちの授業

子育てサークル支援

まで)

保育所・認定こども園・幼稚園

まで)

保育園等公認心理師巡回
保育園等での主食提供

児童センター等公認心理師巡回
放課後児童クラブ

ヤングケアラー相談支援

障がい児相談支援
日中一時支援事業
移動支援事業
地域活動支援センター
食糧支援・フードドライブ
保育所等訪問支援（18歳まで）
児童発達支援

放課後等デイサービス
子どもの学習支援事業

就学時健診
小学校
第2子以降小中学校給食無償化
自校調理の学校給食・食育
GIGAスクール推進・iPad全児童生徒配備
放課後子ども教室
ALT配置・英語検定補助

中学校

就学援助
教育支援センター（かがやき教室）

中高生の居場所づくり（ミアキス）
遠距離通学費補助（中学生）
中学校自転車通学用ヘルメット購入助成

育英奨学金（大学等）

市民バスこども割引
子ども食堂（にららん）

JR利用通学者支援（県外大学等）
奨学金返還支援
入学準備支援（高校）※山梨県の制度
授業料支援金（高校）※山梨県の制度

ここからの蕪崎市「子育て」情報ナビゲーターは、
「子育て」見守り隊・隊長！

「いしのん」が務めてくれます!!



蕪崎市「石之坪遺跡」で発見され、母子の健康と赤ちゃん誕生の
祈りが込められた美土偶『ミス石之坪』！

※この冊子では『ミス石之坪』を「いしのん」と命名。

『ミス石之坪』を当時発見した
〈蕪崎市民俗資料館〉の関間俊明さんに詳しくお話を伺いました。



美土偶『ミス石之坪』は、
蕪崎の「子育て」のルーツ?!

『ミス石之坪』は、約5,000年前の縄文中期
に作られた土偶です。

全国の土偶や土器のNo.1を決める《縄文ドキ
ドキ総選挙2022》では全国1位に選ばれまし
た。縄文土偶の中でも、見る角度によって表
情が変わり、丁寧に磨かれた滑らかな肌から
「美肌土偶」と呼ばれています。

縄文人の思いが詰まり「母子の健康」と「赤
ちゃんの誕生」の祈りが込められ、大切に作
られたのではないかと思います。

蕪崎の先人たちは、その頃からトップレベル
で「生命」を大切にしていたと言えるのでは
ないでしょうか。こうした先人たちの生命に
対する思いが、今の「子育てのまち・蕪崎」
に繋がっているのかもしれない。



上：編集スタッフの取材に答える関間俊明さん
下：美土偶『ミス石之坪』正面・横・後

土偶とは？ 生命を大切にする象徴…

土偶は、縄文時代に粘土で作られた人形の
焼き物です。およそ13,000年前に誕生した
と考えられています。

形状が、ふっくらとした豊かな乳房や、緩
やかにカーブする腰つきに見えることから、
女性の姿をした「女性神」という神秘的な
シンボルとして作られたのではないかと考
えられています。

当時は、今のように医療技術や科学が発達
した時代ではありません。新しい命が産ま
れた際に起こる様々な困難（難産、流産な
ど）に、どう対処して良いかわからないこ
とも…。

妊娠、そして出産は今でもとても大変なこ
とですが、当時はもっと命がけだったはず
です。そんな当時の状況から、土偶は生ま
れたと考えられています。

土偶は、「生命を大切にする象徴」とされ
ていたのかもしれない。



蕪崎市民俗資料館

問い合わせ先：

蕪崎市藤井町南下條786-3

電話：0551-22-1696



詳細は、QRコード
をご覧ください。

韮崎市では、市民・地域・企業・行政が協働し、市全体で子育てを支え、一人ひとりの子どもの健やかな育ちを支援する環境づくりに努めています！



子育ての応援の輪を広げる

「ベビーファースト運動」



公益社団法人日本青年会議所が推進する「ベビーファースト運動」に、韮崎市は山梨県内で最初に参画するなど、子育て世帯に優しいまちづくりを推進しています。「ベビーファースト運動」は、子どもを産み育てたくなる社会を実現するため、地域が協働し妊産婦をはじめ子育て世代が過ごしやすい環境をつくることを目指す運動です。

編集部のイチオシ！ ベビーファースト運動参加企業 「公園とパン」さんの紹介

同店は、緑が広がる韮崎中央公園の目の前にあり、木の温もりを感じられる暖かい雰囲気のお店です！

お店にくるお客さんは8～9割が親子連れ。「お野菜が嫌いな子でも食べられるパンを作り、子育てママの疲れを癒す場所にしたい」という思いがあるそうです。

中央公園にいった時は、気軽に立ち寄ってみてはいかがでしょうか!!



韮崎市 「ベビーファースト運動」

問い合わせ先：
こども子育て課
子育て支援担当
電話：
0551-22-1115



私(たち)の活動宣言

赤ちゃんのご家族が
笑顔で過ごせる場所にします！

具体的な行動

- ①授乳室設置
- ②おもちゃの無料貸出し等、小さなお子様連れのお客様にとって居心地の良い店づくり
- ③従業員が子どもを連れてきても仕事ができる環境づくり

[公園とパンさん 店長 飯沼志保さん談]

オーナー野田さんご夫妻には、4人のお子さんがいて子育てにとっても理解があります。何か子育てのサポートをしたいという思いで、このサービスが生まれました。子連れの方たちのコミュニティ作り、雰囲気作りが大切だと言います。安心しながらお仕事ができ、交流の場にもなるこのサービスは、子育て中の従業員も利用しています。



詳細情報

住所：
韮崎市藤井町北下條2105-2
駐車場：あり（約5台）
電話：080-3476-3060
営業時間：10時～16時30分
定休日：火曜日・水曜日
※営業時間・定休日は変更となる場合があります。



子育て中の親子が、誰でも集まれる場所
韮崎市子育て支援センター 『にら★ちび』



『にら★ちび』は、NPO法人「子育て支援センターちびっこはうす」が運営する、韮崎市の《子育て支援センター》です。

韮崎市民交流センター・ニコリの3階にある館内には、山梨県産の木材を使った大型遊具やベンチ、木のおもちゃなどがあり、親子で楽しく遊ぶことができます。

同センターは、子育て中の親子が交流しながら、遊びの体験や子育ての情報収集をすることができる「子育てひろば」の企画運営、山梨県の子育て情報を発信するフリーペーパーの設置、子育て応援イベントの開催など、多数の子育てサポートを行っています。

利用料：【韮崎市民の方】無料

【市外の方】有料

ひと世帯 一日券（100円）又は
入館パスポート（1,000円）

施設を利用できる方：0～6歳児（未就学児）とその
きょうだい及び保護者・妊婦とそのパートナー

※市外の方もご利用になれます。

開館日：火曜日～日曜日・祝祭日

開館時間：9:00～17:00

電話:0551-23-7676

休館日など、詳しくはQRコード、
公式HPをご覧ください。



上図：『にら★ちび』入口と山梨県産の
木材を使った大型遊具

下図：『にら★ちび』スタッフとセンタ
ー長の齊木美和さんから話を聴く
編集スタッフ

子育てのお困りごとや、パートナーとのこと等でお悩みがあるときは、
『にら★ちび』にお気軽にご相談ください！



『にら★ちび』は、様々な相談体制があります。同センターだけでは解決が難しい場合は、韮崎市の関係課や保健福祉センターなどの連携機関を紹介することもできますので、何かお困りの際はまず一度ご相談ください。

■「子育てひろば」で相談

子どもを遊ばせながら相談が可能です。相談スタッフは、全員が利用者支援専門員の資格を持っているので、安心してください。加えて、毎月2回栄養士や助産師などの専門家ともお話しすることができます。先輩ママもたくさん利用していますので、お気軽にご利用ください。

■「子育てイベント」で相談

『にら★ちび』では、パパママが当事者同士でお話ができるイベントを多数開催しています。同じ立場だからこそ、共感・共有できることがあるので、ご活用ください。

- 県外出身者のパパママの会
- 入園を考えるパパママの会
- 多胎ちゃんパパママの会
- ひとり親パパママの会 など



上・下とも：
「にら★ちび」を訪れた親子にアンケート調査をするスタッフたち



■ 個別面談（予約制）

個室にて、個別のご相談も可能です。Cafeのような雰囲気です、ゆっくりお話を伺います。

メール・電話でのご相談も可能ですので、お気軽にお問い合わせください。



お子さんの休日・夜間における急な病気に対応するため、小児救急医療の提供体制

お子さんの急な体調不良や怪我の際は、下記の専門機関へお問い合わせください。

■ 小児救急電話相談（#8000）

休日・夜間の急な子どもの病気やケガにどう対処したらいいのか、病院の診療を受けた方がいいのかなどの判断に迷った時に、小児科に精通した看護師への電話による相談ができます。

- 相談内容：子どもの急な病気やケガに関する相談（発熱、頭をぶつけた、下痢、嘔吐、ひきつけなど）
- 利用時間：〈平日〉午後7時～翌午前7時、〈土曜〉午後3時～翌午前7時、〈日曜祝日〉午後9時～翌午前7時
- 電話：#8000 または 055-226-3369

甲府地区小児初期救急医療センター

休日や夜間における小児の急な病気に対応するため、医療関係者などの協力のもと、県と市町村が共同してつくる全県的な「小児救急医療体制」を実施しています。

- 所在地：甲府市幸町14-6
甲府市地域医療センター内
- 電話：055-226-3399
- 診療時間：夜間（毎日）午後7時～翌午前7時

休日・夜間に診療できる医療機関をお探しの場合

- 山梨救急医療情報センター
電話：055-224-4199

先輩！
子育てパパ・ママ
に聞いた!!

**1位: 子どもの「初めて」に
出会ったとき**

初めて歩いた
寝返りした
一人でできるようになった



**2位: 子どもと会話や
コミュニケーションできたとき**

子どもと会話ができるようになった
「ママ」「パパ」と呼んでくれた
感謝を言葉にしてくれた

その他にも、こんな声が！
子どもと一緒に絵本を読むとき
兄弟姉妹が仲良く遊んでいるとき
家族みんなで旅行したとき
子どもの頃に遊んだ場所へ行った
とき……

**3位: 子どもが笑顔で、
元気にしているとき**

毎日を元気に過ごしてくれる
ニコニコ笑っている顔を見る

**「子育て」で
楽しかったこと！
嬉しかったこと！**



※アンケート結果を基に作成
・回答者数：50名
・回答者の年齢：0歳～28歳
・調査場所：韮崎市子育て支援センター
にら★ちびさん、ご協力ありがとうございました。

子連れで行ける
『リフレッシュ・スポット』
in 韮崎市

その他…
「穂坂自然公園」
「ゆ〜ふるにらさき」
「ライフガーデンにらさき内
ゲームセンターの遊び場」
「古民家カフェトロッコ」
「公園とパン」
「ホワイトベース」
(順不同)

1位 韮崎中央公園

七里岩ライン沿いにある丘の上の公園。
緑がたくさんで、遊具や様々な施設がある。
韮崎市藤井町北下條2531 ☎0551-22-5857

2位 韮崎市民交流センター ニコリ

図書館や、「にら★ちび」もある。
子どもスペースでは読み聞かせができる。
韮崎市若宮1丁目2-50 ☎0551-22-1121

3位 勝の家

座敷の個室あり、ランチもお勧め。ママ会に！
韮崎市上ノ山3803 ☎0551-23-6323





子育てパパの「トリセツ」



子育てって、何をしたら良いの？ママや子どものためにできることって？と不安なパパのために、子育てパパの「トリセツ」を作りました！先輩ママたちにアンケートへご協力いただき、パパにやってもらって嬉しかったこと、ママが喜んでくれたこと…たくさんの声が集まりました。

1. 子どもとの関わり編

1位：子どもと遊ぶ

2位：離乳食をつくる

その他：お風呂に入れる、授乳、夜泣き、おむつ替え、食事の介助、病院受診、保育園・幼稚園の送迎、寝かしつけ、兄弟姉妹の面倒を見る

2. パートナーとの関わり編

1位：子どもを任せて、1人の時間がとれた

定期的にはリフレッシュの時間をくれた。

土・日に子どもたちを外へ連れだしてくれた。

2位：子どものことを話し合う

その他：好きな食べ物や飲み物を買ってきてくれたこと。

3. 家事・生活編

1位：家事

ごはんを作ってほしい。洗濯、掃除、ゴミ出し、皿洗い、買い物など家事全般をしてほしい。休日は早起きして、一緒にやってほしい。

2位：育休取得

1か月育休をとって夜間授乳や夜泣きの対応をしてくれて嬉しかった。

その他：早く仕事を切り上げて帰ってきてくれた。

《先輩子育てママのからひと言》

パパが、子どものために何かやってくれることは、何でも嬉しい。そのようなスタンスを見せてくれることでも、ママは嬉しいんです。子どものために、パパとママが同じ方向を向いて協力し合えることが大切だと思います。



「子育て」
インタビュー！
韮崎のエキスパート
に聞く！！



石山 めづ美 医科学博士
韮崎市子ども・子育て会議 会長

【プロフィール】

石山 めづ美 (医科学博士)

常葉大学 保育学部 保育学科 教授。
2017年から「韮崎市子ども・子育て会議」会長。高校教諭から専業主婦、大学院生、非常勤講師を経て、現在大学教授・保育学部長。取得学位は博士(医科学)、修士(教育学)。専門分野は小児保健・社会医学・生命倫理。三人の子どもを授かり、二人の孫にも恵まれる。

Q1：全国的に今どんな「子育て支援」が求められているのですか？

政府と自治体は子どもを持つ可能性のある年代のニーズを把握するため意識調査を行い、少数派の声も拾い上げ、幅広い施策を展開しています。

1990年代(一世代前)のような出生率向上に特化した支援ではなく、胎児期から大学卒業までを見通し、支援が網羅的に広がったことは一定の評価ができます。しかし、生まれる子どもが大学を卒業するまで、実際に支援が継続されるかどうかについては不安な意見もあります。

Q2：韮崎市の「子育て支援」について、特に魅力的・良いところはありますか？

①韮崎市子育て支援センター『にら★ちび』は訪れる人の期待に十分応える支援を提供してくれます。駅前の立地や、市内外を問わず予約なしで利用できる点も魅力です。

②市内には4か所の児童センターがあり、学童期から青年期の支援が充実しています。親と教師の他に寄り添える大人がいることは大きな支えです。

また、クラスや部活にはない友人関係や趣味を育む空間があることで、子どもたちがより豊かに自分自身を育てられます。

③「韮崎市子ども・子育て会議」は、学識経験者、保育機関代表、保護者代表など多様なメンバーで構成されており、「まちぐるみ」で子どもを育てようとしていることが分かります。その立場ならではの意見が出されることや、常に新たな課題に取り組んでいることも同会議の特徴の一つです。

現在は、「韮崎市子どもの権利条例(仮称)」制定の準備を始めています。「子育てにやさしいまち韮崎」は、スローガンだけではないことを同会議の会長として保証します！

Q3：韮崎の「子育て家庭」へ応援メッセージをお願いします！

ひとは、いくつになっても未熟なもの。子どもも親も祖父母も、育て・育てられながら成熟中です。

心配なことがあったら韮崎市子育て支援の力を頼ってみてください。

いのち輝く幼子と、心豊かな毎日をご過ごされますように。

韮崎市の「子育て」 パパ・ママたちへ、 そして未来ある 子どもたちへ

大村 智 博士

ノーベル生理学・医学賞受賞
韮崎市立大村美術館館長



Q1：子どもたちを支援されている取組みは、どんな想いでされていますか？

人間はよく勉強できるだけではダメで、音楽を聞いたり、絵を見たりして、感性や情緒を育むことも大切。それは子どものうちに育てることが大事ですね。「孟母三遷」という言葉があるように、環境を良くしてあげること。私に何ができるのかということで、美術品を学校で観てもらったり、商店街に「まちなか美術館」という支援をしています。

Q2：韮崎市に今後どんなまちになって欲しいと思われますか？

もちろん経済も大事ですが、「文化を大事にするまち」になって欲しいと思います。絵画を観たり、音楽会をしたり、それぞれが文化に親しむことが大切です。

そして、子どもたちが自分の将来に対する夢を持てるような、環境づくりも大事。このまちに来ると「子どもたちが頑張っているな」というまちになって欲しいですね。

「親の背中を見て育つ」と言いますが、偉人と言われる人には優れた両親や教師がいる。良い出会いを作ることが周りの大人の役目じゃないかな。

Q3：韮崎の「子育て」パパ・ママへメッセージを！

親は自分がまずやってみせることが大事です。僕が子どもの頃、母は学校の先生でしたが、朝起きると母親はすでにいなかった。ただ驚くことに、朝早く起きて洗濯してから出かけていた。だから親から仕事を言い遣った時は、「親があれだけやるのだから、ちゃんとしなさいといけない」と。生活の中で難しいことはできなくても、子どもは感じるんです。

大村 智 博士の誕生日（昭和10年7月12日）に
父母が書いた日記より
『大村智博士 父母の
思い出』参考資料

母の日記【下段】から

今日は夜明け前頃より
どうもお腹がいたくて
変だった。朝飯を済ませたが
学校へ行く気になれず髪をゆい
はじめたがよして床でごろごろ
していると下り物がしたので驚いた。

（七時半頃）

それからお腹が段々痛くなり
がまんして髪をゆっていると
ポーのおばあさんが赤ちゃん
生まれた知らせに来る。丁度
家の人を食っている時はげしく
痛み一時頃生まれた。

主人は学校其の他へ通知する。とても
腹が痛くて苦しかった。でも安産
でよかった。



Great to see you!



Welcome to Nirasaki City

編集後記 ■

菲崎市の“チーム”で支える子育てが魅力的だと感じました。私たちも地域の一員として今後も様々な場面で子育て支援に関わり、共に子どもたちの成長を支えていきたいです。（大夢）

にらさき子育てガイドブック/利用者支援事業ガイド

発行元： 菲崎市こども子育て課
企画編集： 高村大夢 望月優那 小森直斗
望月南海 海野弥羅（トップファンやまなし）
表紙 高野雅裕（協立コミュニケーションズ）
デザイン： 古屋若葉